

第10回 毎日展篆刻会展目録

会期：令和8年8月29日～10月25日

No.	役 職	名 前	都道府県	題名 / 釈文（印文）	釈文（印文）	出 典
1	顧 問	遠藤 彊	東京都	天地朗々日月照	天地朗々日月照	—
2	理事長	稲村 龍谷	東京都	對酒當歌人生幾何	對酒當歌人生幾何	—
3	副理事長	田邊 栖鳳	千葉県	從容中道	從容中道	中庸
4	専務理事	吉永 隆山	神奈川県	歸馬放牛	歸馬放牛	書經
5	理 事	阿部 一皋	東京都	今安在	今安在	夏目漱石
6	理 事	越坂 久雄	北海道	曠朗無塵	曠朗無塵	—
7	理 事	後藤 石鼎	千葉県	扶搖	扶搖	莊子
8	理 事	小西 斗虹	神奈川県	六十五年似電光	六十五年似電光	了翁禪師語録
9	理 事	西島 千繪	静岡県	送小枝默默游江都	道中何物豁心胷 唯有芙蓉帶雪峯 平素攢看圖畫裡 馬頭明日見眞龍	篠崎承弼『小竹齋詩抄』卷五
10	理 事	平川 四皓	福岡県	桃花流水窅然去	桃花流水窅然去	李白「山中問答」
11	理 事	三富 一幸	神奈川県	揮汗成雨	揮汗成雨	「戦国策」齊策
12	監査役	佐野 榮輝	岡山県	鑑止水	鑑止水	「莊子」徳充符
13	相談役	清水 六穂	神奈川県	雪梅	三分白一段香	宋・盧梅坡
14	審査会員	安部 華慧	大分県	敬爾威儀	敬爾威儀（爾の威儀を敬め）	詩經（大雅）
15	審査会員	阿部 江碧	長野県	遊	龍遊間碧雲	自作
16	審査会員	有川 立虹	富山県	危檣独夜舟	きしょうどくや ふね 危檣独夜の舟 わたしは帆柱が高くそびえた船で独り眠られぬ夜を過ごす	杜甫「旅夜書懷」

No.	役 職	名 前	都道府県	題名 / 釈文（印文）	釈文（印文）	出 典
17	審査会員	池田 光希	神奈川県	遐齡康寧	遐齡康寧	魏書（常景伝）
18	審査会員	池田 孝一	千葉県	永壺之心	永壺之心	鮑照
19	審査会員	石川 淳	北海道	騰世獨游	騰世獨游	『莊周賛』
20	審査会員	出射 詩都	岡山県	程孔傾蓋	程孔傾蓋	「孔子家語」致思
21	審査会員	太田 幽琳	北海道	隨肥馬塵	隨肥馬塵	杜甫詩
22	審査会員	砂川 博史	栃木県	近作一顆	日食三餐	禪語
23	審査会員	園田 蒼雨	大分県	抱甕	抱甕	「莊子」天地
24	審査会員	高橋 秀之	新潟県	滑疑之耀	滑疑之耀	「莊子」齊物論
25	審査会員	中野 水礪	長野県	随其心淨	随其心淨	維摩經
26	審査会員	野瀬 雋水	広島県	雨順風調四海寧	雨順風調四海寧	周憲王
27	審査会員	原田 歴鄭	神奈川県	無盡藏	無盡藏	—
28	審査会員	福富 玲茜	栃木県	四海寧	四海寧	—
29	審査会員	増渕 耕子	栃木県	嘯傲烟霞	嘯傲烟霞	—
30	審査会員	三浦 士岳	神奈川県	變化氣質	變化氣質	張子語録
31	審査会員	吉田 多雅士	福岡県	古為鑑	古為鑑	唐書
32	会 員	相澤 不逸	神奈川県	四苦八苦	四苦八苦	釋迦
33	会 員	阿部 寧	東京都	翰墨游戲	翰墨游戲	文徵明
34	会 員	荒木 久美子	福岡県	俶載南畝	俶載南畝	「詩經」小雅

No.	役 職	名 前	都道府県	題名 / 釈文（印文）	釈文（印文）	出 典
35	会 員	荒木 静苑	茨城県	蟲篆奇字	蟲篆奇字	—
36	会 員	有川 卓見	富山県	門外漢	もんがいかん 門外漢	宋・釈普濟（五灯会元）
37	会 員	伊東 紀夫	長野県	弄巧成拙	巧をろうして、却って拙となる	伝灯録
38	会 員	伊藤 由香	東京都	心清無炎暑 端居思渺然 水雲涼自得 窓下抱花眠	心清無炎暑 端居思渺然 水雲涼自得 窓下抱花眠	芥川龍之介の句
39	会 員	今井 昭友	新潟県	いんすい し げん 飲水思源	水を飲むに源を思う。水を飲む時には、その源を思う。	北周・庾信「徵調曲」
40	会 員	入江 遼太	広島県	一身為輕舟	一身為輕舟	唐・常建「西山」
41	会 員	岩尾 伎三江	東京都	冬嶺秀孤松	冬嶺秀孤松	陶淵明「四時歌」
42	会 員	上田 久美子	東京都	墨悲絲染	墨に触れると黒く染まり、悲しみに触れると心も染まるという考え。 良い人といれば良くなり悪い環境にいれば悪くなる。	千字文
43	会 員	内片 翠洸	大阪府	変化無窮	変化して窮まり無し	宋玉 高唐の賦
44	会 員	大井 裕己	東京都	悲人磨墨	悲人磨墨	蘇東坡詩句
45	会 員	大熊 白蹊	神奈川県	傳移模寫	対象の形や色を正確に写し取り次の世代へ伝える事	故事
46	会 員	音在 閑珠	福岡県	鐵崑崙	鐵崑崙	禪林句集（禪語）
47	会 員	粕谷 廸子	千葉県	氣象萬千	自然界の現象は数え切れないほど多い	范仲淹「岳陽樓記」
48	会 員	加藤 子直	千葉県	運情摹景	運情摹景	清・石濤「畫語録」一畫
49	会 員	河村 理加	東京都	水泉動	水泉動	七十二候
50	会 員	菊地 山蒼	福島県	天道循環	天道循環	李彥迪自新箴
51	会 員	溪 皎藍	富山県	従容中道	しょうよう 従容 として道に あた 中る	中庸
52	会 員	小林 庸子	栃木県	多士濟々	た し せいせい 多士濟々	「詩経」大雅 文王

No.	役 職	名 前	都道府県	題名 / 釈文（印文）	釈文（印文）	出 典
53	会 員	齋藤 壽峰	茨城県	景物自隨幽意得 世情渾與此心違	景色は自然としずかな気持によって得るが、世の情態はすべて この心と反対で齟齬することが多い	陳留
54	会 員	作佐部 京子	栃木県	萬古情	ばんこのじょう 萬古情	—
55	会 員	笹倉 淳	大分県	蘭飛磬	らんひけい 蘭飛磬	—
56	会 員	鈴木 真凜	千葉県	放心縦逸	放心縦逸	張華「勵志」 （『文選』巻19勸励）
57	会 員	添島 青雲	福岡県	妙應無方	妙應無方	日本洞上聯灯録
58	会 員	高橋 正貴	福岡県	隨處為主	隨處為主	林間録
59	会 員	巽 千晶	東京都	衆妙之門	（拾翠踏青・衆妙之門・地無不載のうち）	老子「道德經」
60	会 員	田中 恵柳	埼玉県	攀轅扣馬	攀轅扣馬	白孔六帖
61	会 員	永森 大愚	富山県	立身行道	身を立てて、道を行く	易經
62	会 員	西崎 紫仙	岡山県	物理常然	物の理、常に然るなり	書譜
63	会 員	畑澤 宏和	埼玉県	衆善奉行	衆善奉行	七佛通戒偈
64	会 員	花岡 洸琳	鹿児島県	風鋒推戸	風鋒推戸	西郷南洲詩
65	会 員	早川 鵬玉	山梨県	江碧鳥逾白	こう みどり 江は碧に鳥は 逾 白く	杜甫詩
66	会 員	樋口 了齋	福岡県	渾然和氣	渾然和氣	菜根譚
67	会 員	堀田 昌利	東京都	驚馬十駕	驚馬十駕	荀子 脩身
68	会 員	堀 祥華	神奈川県	蓋均無貧	蓋均無貧	論語
69	会 員 (会員賞)	松本 紫羊	福岡県	謙謙君子徳 鷹揚	謙謙君子徳鷹揚紫羊刻	曹植之詩
70	会 員	柳橋 伸和	東京都	鐘鳴漏盡	鐘鳴漏盡	崔寔『政論』

No.	役 職	名 前	都道府県	題名 / 釈文（印文）	釈文（印文）	出 典
71	会 員	吉田 晴賀	北海道	麟子鳳雛	麟子鳳雛	易林
72	会 員	米澤 北伸	東京都	冬冰可折	冬冰可折	淮南子・説林訓
73	毎日賞	新井 唯真	千葉県	大巧若拙	大巧若拙	「老子」四十五章
74	毎日賞	安食 豊	東京都	ひゃくれんはがねをなす 百煉成鋼	鍛えぬいてはがねとなる。鍛えて堅強となること。	劉琨の詩
75	秀作賞	毛塚 涼斗	東京都	千巖万壑	千巖万壑	『世説新語』「言語」
76	秀作賞	高橋 山香	東京都	學無止境	學無止境	劉開『劉孟涂集』
77	秀作賞	比企 絢子	北海道	光風霽月	光風霽月	黄庭堅「濂溪詩」
78	秀作賞	森 園月	岡山県	頃尋諸名書 鍾張信爲絶倫	このごろ 頃 諸名書を尋ぬるに、鍾・張は信に絶倫為り	書譜
79	佳作賞	伊藤 山翠	東京都	壽則多辱	壽則多辱	「莊子」天地
80	佳作賞	桑原 利明	千葉県	ま せん てっけん 磨穿鐵硯	強い意志をもち続け、物事を達成するまで変えないこと	『新五代史』桑維翰伝
81	佳作賞	佐藤 智子	広島県	海翁好鷗	—	—
82	佳作賞	二階堂 黄岳	福島県	擁書萬卷	擁書萬卷	北史
83	佳作賞	富宿 伊公代	鹿児島県	萬燈照國	萬燈照國	最澄
84	佳作賞	古里 航	神奈川県	觀心證道	觀心證道	菜根譚
85	佳作賞	安野 由志	福岡県	山月隨人歸	山月は人に随って帰る	唐・李白
86	U23新鋭賞	宮口 拓己	千葉県	被甲上馬	被甲上馬	「史記」廉頗藺相如列伝